

事務事業評価表

記入年月日				
平成16年度	事業コード	22110	電話	042(769)8242
担当部課名	環境保全部	みどり対策	課	
事務事業名	川のボランティア育成事業			
予算上の事務事業名	川のボランティア育成事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	水とみどりの保全と創造に努めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	相模川の保全と魅力づくり	15年度
施策名	第1施策	相模川の自然環境の保全	

2 実施根拠及び関連法令等

河川法

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
市民に川を環境学習やレジャーを含めた自然体験の場として利用してもらうため、様々な分野の活動指導者を講座開催等により育成し、自主的なボランティア活動やボランティア団体の設立等に発展させようとするもの。	一般市民
	対象数
	単位
(3)平成15年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
NPO法人自然体験活動推進協議会(愛称:コーン)の「自然体験活動指導者(コーン・リーダー)養成」のしくみを取り入れた講座の開催。 ・講座内容 コーン共通カリキュラム(21時間)を3日間に分けて実施。 ・共通カリキュラム 「自然の理解」、「指導法」、「安全対策」、「プログラムづくりの基礎」などの講義と実習 ・参加人数 25名	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度~年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

16,17年度は目標値

成果指標	指標名	指標式・指標の単位	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				13	14	15	16	17
	ボランティア団体加入率	ボランティア団体加入者/講座修了者×100	指導者養成講座修了者の、ボランティア活動への参加意識の把握			88	100	100
	自然体験活動指導者養成講座開催一回当りの修了率	修了人数/講座参加者数×100				100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位:千円〕

事業費	決算(予算)額	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
		決算	決算	決算(見込み)	予算	予算(見込み)
	人員・時間数			0.2	0.2	0.2
	人件費					
	その他経費					
	合計	0	0	120	420	420
	特定財源					
	対象数(--)			30	30	30
	単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	4,000.0	14,000.0	14,000.0

10 個別評価(担当課による一次評価)

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	講座修了率(参加者と修了者の割合)の高さと、修了者のその後のボランティア活動への参加やその意欲が高まっている。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 活動分野の多様性に対応できており、様々なボランティア活動への応用が広い。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		説明
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	講座内容や開催日数(時間数)で他の類似講座等と比較して効率性に優れている。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	応募者数が予定人数以内だったため抽選等の選抜がなく機会は均等に与えられたが、受益者負担の面で考慮する必要がある。
(6)成果の向上及び費用対効果を高めるための方策		(7)今後の課題となっていること	
個人の資格取得に際して費用負担を求めことや、その費用負担を含めた中で講座の開催規模や内容の充実に努めることを検討する必要がある。		講座修了者の活動の場の提供や活用の機会を広める必要がある。	

11 総合評価(担当課による一次評価)

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 自然体験活動の中で昨年度に実施できなかった分野を今年度の講座に取り入れ、活動分野の多様性を増すとともに、昨年度の修了生をスタッフ側の補助として活用することにより、講座開催の効果はさらに高まるものと考えられる。このような効果、効率性などが高いレベルで実施されているため、継続して行うべきものと考えている。 今後の活動予定 ・相模川クリーン作戦の会場準備等の補助(6/13) ・自然観察会の講師(6/13)
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止	
<input type="checkbox"/>	完了(廃止)済	

12 二次評価コメント(行政評価会議による二次評価)

--